

沖縄県平和祈念資料館だより



平和講話の後、第5展示室(米軍統治下の沖縄)を案内

大人のための平和学習(入門編)

1から学ぶ沖縄戦
～子・孫と学び合うために～

■第1回 2021年2月21日(日)、第2回 2021年3月21日(日)

■於: 大会議室・常設展示室

戦後75年が経過した今、沖縄戦の実相と歴史的教訓を次世代へどのように継承していくかが大きな課題となっています。沖縄戦の歴史的教訓を正しく次世代に伝え、恒久平和の樹立に寄与するということが重要な当館の設立理念となっています。そのことを具現化するため、学芸班では、県内の小中高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に平和講話を行っています。また、今年度は、特に県内に在住する成人を対象に世代間の交流を意識し、子や孫と一緒に「学び合う沖縄戦」、沖縄戦の経緯と特徴について「学び直しの沖縄戦」として、平和講話及び常設展の展示見学会を開催しました。

戦争体験者を第一世代とするなら、体験者の子は第二世代、体験者の孫は第三世代となります。最近では、祖父母でも戦争を体験しておらず、また身近にも体験者がいない世代(第四世代)が増加しています。このままいくと、沖縄戦の記憶の継承や沖縄戦の実相について考えることが段々難しくなっていきます。日常の家庭でも親子、夫婦、子や孫と一緒に平和の大切さについて考え、学ぶ機会とすることを目的に、沖縄戦の教訓と継承の方法を模索しながら当館設立の理念を実践する試みを行っています。



展示案内(資料館の役割について常設展示室を案内)



平和講話(沖縄戦の実相とその特徴を説明)

令和2年度特別展 戦時中の少女たちがつづった「学級日誌」 ～滋賀県瀬田国民学校五年智組～ 1944-1945

期間 2021(令和3)年2月13日～3月28日

於 本館企画展示室



12月18日 「何度も発令された警戒警報、防空頭巾をかぶって避難」

戦後75年の特別展では、滋賀県大津市歴史博物館所蔵の「瀬田国民学校絵日記 昭和十九年五年智組」の画像データから「教育」「疎開」「出征」「空襲」に関する資料を選び、再構成して展示を行いました。

この『学級日誌』は、瀬田国民学校五年智組の少女達が、西川綾子先生指導のもとで1944年4月から1945年3月までの1年間を描き綴ったものです。一見平和な農村における戦時下の学校生活ではありますが、入学式、運動会、学芸会など学校の様子を色彩豊かに描いています。日本中至る所で経験した“どこにでもあった戦争”を表現しており、空襲や疎開、学徒動員など戦時下の暮らしぶりを子どもの目線で描いた貴重な記録です。これらの日誌から、戦時下であっても「土に親しむ教育」「ほめる教育」を提唱した矢嶋正信校長の教育方針と西川先生の子どもの感性を育てる「総合教育」は、現在の私達にも学ぶことがあります。



(1)特別展入り口



(2)学級日誌パネル展示



(3)学級日誌パネル及び手紙など



10月12日 「沖縄・宮古島に敵機襲来」(沖縄の「十・十空襲」2日後に書かれた日誌)

瀬田国民学校の児童たちが学級日誌を描いていた頃、沖縄ではどのような動きがあったのでしょうか。

特別展では、学級日誌の他にも、日誌が描かれた当時の沖縄の動きを理解する写真や資料も展示しました。

また、沖縄戦における滋賀県出身戦没者に関する展示も行い、平和の礎に刻銘された1,691名の戦没者名写真パネルを展示しました。また、滋賀県平和祈念資料館から提供いただいた、沖縄戦で戦死した左近清左衛門さん、七里操さんに関する沖縄戦での体験、七里さんの元で通信隊として動員され、戦後も続いた元県立二中学徒の佐敷興勇さんと七里さんの遺族との交流について紹介しました。



(4)資料を観覧する人々



(5)戦時中の衣服



(6)日誌を描いた方々の証言映像



(7)「平和の礎」に刻銘された滋賀県出身の戦没者名写真パネル(上)

第3回子ども・プロセス企画展

期間 2020(令和2)年12月3日(木)～2021(令和3)年3月7日(日)

企画展「沖縄の民間人収容所」では、米軍が沖縄戦において、沖縄本島の住民を捕らえて隔離した「民間人収容所」について展示しました。民間人収容所の概要や住民たちの生活状況、沖縄戦から終戦直後にかけて米軍に奪われた土地についても展示し、沖縄戦による被害が戦後も長く社会に大きな影響を与えていることについて理解を深めました。



第3回企画展「沖縄の民間人収容所」を観覧する県内小学校の児童たち。

第4回子ども・プロセス企画展

「戦時下の子どもたち 一小学校から国民学校へ」

期間 2021(令和3)年3月17日(水)～5月22日(土)

企画展「戦時下の子どもたち」では、軍事力を強化して戦争に勝つために、日本では子どもたちにどのような教育をしていたのかを、当時の教科書や雑誌などを中心に展示しました。また、戦時下の日常生活や学童疎開などについても紹介し、多くの人々が犠牲となった日本の戦争について学び、過ちを繰り返さないためにはどうすればいいのかを一人ひとりが考える機会としました。

※緊急事態宣言発令のため5月22日(土)まで。



第3回ギャラリー展

「アカナちゃんと歩いてみよう！ 平和祈念公園」

期間 2020(令和2)年11月27日(金)
～2021(令和3)年3月10日(水)

当館に来館された方々に平和祈念公園にも足を運び、沖縄戦や平和について考えてもらえるよう、公園内の慰霊碑や戦争遺跡などの紹介を行いました。実際に園内を歩いて散策しながら沖縄戦を学ぶため地図やイラストを使い、当館キャラクター・虹の妖精アカナちゃんが案内する展示を行いました。

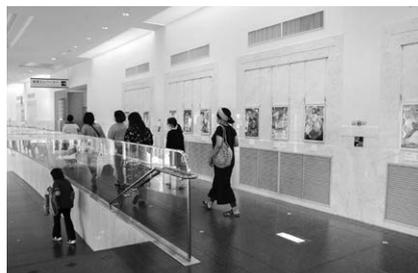


第4回ギャラリー展

「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」

期間 2021(令和3)年3月11日(木)
～5月12日(水)

2020年度に児童・生徒の平和メッセージ展が第30回を迎えたため、図画、作文、詩の過去の最優秀賞作品を展示しました。今回は、第14～30回の児童・生徒の平和メッセージの図画部門・高等学校の部の最優秀賞作品17点を展示しました。



八重山平和祈念館の活動紹介

(1) ①企画展「体験者が描く沖縄戦」

期間 2020(令和2)年6月19日(金)～7月19日(日)

平成17年に沖縄県とNHK沖縄放送局が主催で募集した「体験者が描く沖縄戦の絵」に寄せられた547点の中から、八重山諸島にゆかりのある作品を中心に27点を展示しました。

文章や映像の体験証言では伝えきれなかった戦争マラリアや地上戦の悲惨さを訴える絵から、来館者は、改めて現在の平和を見つめ直す機会となりました。



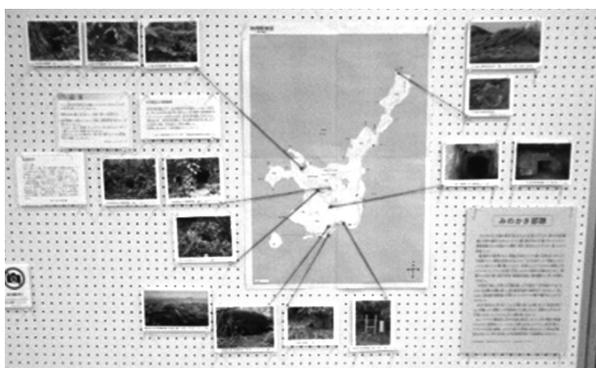
企画展を観覧する親子

②戦後75年企画展 「写真・映像・証言で見る 八重山の戦争」

期間 2020(令和2)年12月16日(水)～2021(令和3)年1月31日(日)

八重山諸島の10の島々について、島毎に地図や写真、映像、証言等を展示しました。証言は新たに収集したのもも含め28名の体験を、写真は戦前・戦中7点、戦跡等の現状写真及び動画を展示。戦跡など場所が特定できる写真や動画は、地図に紐付けし一目で場所をわかるように展示方法に趣向を凝らしました。

観覧者の多くは、身近な場所に今も戦跡が残っていることに驚き、75年前の出来事が決して他人事ではなく、私たちの島・地域であったことを実感しているようでした。当初は12月28日までの開催予定でしたが好評につき1月31日まで延長しました。



写真パネル展示(石垣島)



写真パネル展示(与那国島)

(2) 平和教育活動 初任者教諭対象見学説明会

期間 2020(令和2)年6月10日(水)、11日(木)、12日(金)、25日(木)

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、小中学校の初任者教諭を対象とした見学説明会を実施しました。26名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行いました。



研修の様子

県内学校向けの平和学習支援について

【平和講話と常設展示案内を行っています！】

当館常設展示室の観覧をお申し込みで、かつ平和講話を希望する県内各学校に資料館職員による平和講話を提供しています。児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示室の紹介などを、要点をおさえて約60分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっています。（※講話のみ、又は学校への派遣する出張講話については提供しておりません。[離島・遠隔地派遣事業の対象となる学校を除く]）

《平和講話の主な内容》

- ・ 沖縄戦に至る歴史的な流れ
- ・ 沖縄戦の特徴
- ・ 沖縄戦から学ぶこと
- ・ 平和を築くために



平和講話の様子



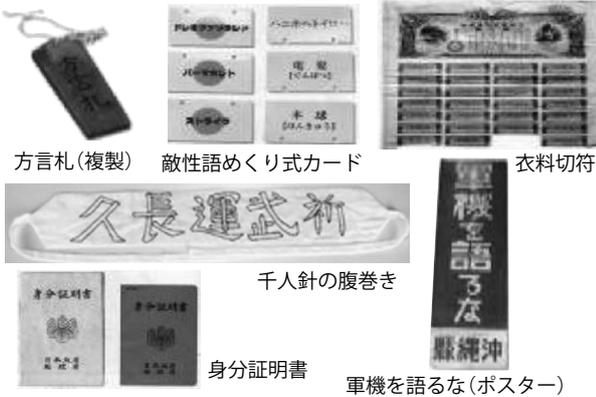
実物資料に触れてみる子ども達

【平和学習の資料を貸し出しています！】

当館では、平和学習の補助教材として、下記のような沖縄戦に関する平和キット・絵や写真パネル戦争体験者の証言や実物資料の貸し出しを行っています。詳細は、当館HP「資料貸し出し」をご覧ください。

平和学習キットA(戦争とくらし)

【19点の複製資料とパネルで構成】



方言札(複製)

敵性語めくり式カード

衣料切符



千人針の腹巻き



身分証明書



軍機を語るな(ポスター)

平和学習キットB(沖縄戦の記憶)

【20点の複製資料とパネルで構成】



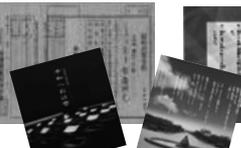
アジア・太平洋戦争の動き(地図)

沖縄戦の戦闘経緯(地図)

出頭状



投降ピラ



証言本



投降ピラ

平和学習キットC(沖縄戦の記録写真)

【A2判 30枚の写真パネルで構成】



4月1日沖縄本島上陸から各地での戦闘状況

住民の犠牲

捕虜・収容所の様子

平和学習キットD(みんななかよく)

【幼児・小学校低学年向け:絵本、紙芝居で構成】



絵本「動物と人間」

紙芝居「ローズちゃんとあずきちゃん」

紙芝居「少年兵と女の子」



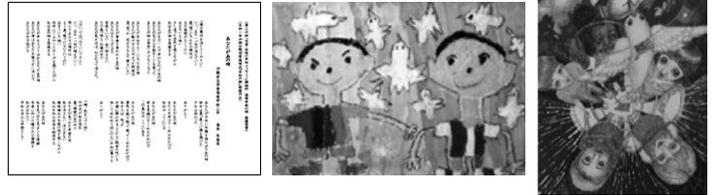
沖縄戦の絵パネル

沖縄戦体験者が描いた絵を複製しパネル化したもの。対馬丸沈没、10・10空襲、野戦病院壕の様子、学徒隊、摩文仁の様子、戦禍の状況、赤ちゃんや高齢者を含む住民の犠牲などに関するパネル52点があります。



児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル

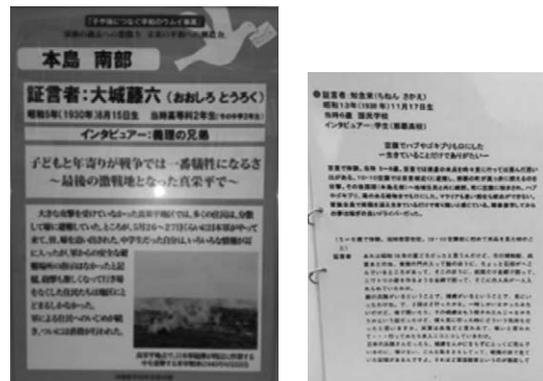
当館が毎年開催している「児童・生徒の平和メッセージ」事業の作文、詩及び図画部門において、最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をパネル化しました。



平和のウムイ地域版セット

「子や孫につなぐ平和の思い(ウムイ)事業」で制作した県内6地区[北部、中部、那覇(南部)、久米島、宮古島、石垣島]ごとの平和学習セット。

DVD(1枚)、写真パネル、証言集で構成されています。



世界人権宣言絵画パネル

当館が主催する「児童・生徒の平和メッセージ展」入賞作品の図画に、世界人権宣言の条文を記載して制作しました。(第1条～第35条)



戦争体験証言ビデオ(DVD・BD)

沖縄戦体験者の証言を収録した映像資料で、DVD、多言語ブルーレイディスク等があります。

当時の様々な状況下(年齢・立場・地域等)での戦争体験の証言映像が収録されています。535人分の証言映像があり、そのうち一部は「戦世の記憶～戦争体験者多言語証言映像～」として、WEB公開しています。(当館HPにおいて配信)



貸出資料を活用された学校より寄せられた感想

実物資料…実物資料は特に子どもたちが見入っていた。低学年の児童は、鉄かぶとを見て「何でできているのだろう?」と想像していた。また、高学年の児童からは、「これまで学習したことが今回の展示でより身近になり、戦争を他人事ではなく自分事として考え、とても恐ろしくなった。」という感想もあり、従来より深い学びができたと思う。(小学校)

平和学習キット…写真パネルだけでなく、何か生徒の心に訴えかける物をとってお借りした。特に「平和への証言」は生々しく心に響いたようです。(高等学校)

【沖縄平和啓発プロモーション事業】の取り組み

今年度は、戦争体験者による戦後復興に焦点をあて、沖縄本島北部や中南部、宮古・八重山の方々30名のインタビューを行いました。年齢は、76歳から100歳と幅広い年齢層の方々に満州開拓や、本土への出稼ぎ、台湾疎開など様々な体験を聞かせていただきました。お一人約2時間程度の聞き取り調査でしたが、中には4～5時間にもおよぶ方もいて貴重な証言映像が収録できました。これらの証言映像は、2021（令和3）年度にWEB公開する予定です。



摩文仁海岸で捕虜になった様子を語る吉嶺全一さん
於：平和祈念資料館



八重山の戦争マラリアについて語る潮平正道さん
於：八重山平和祈念館

沖縄県平和祈念資料館友の会・活動紹介

沖縄県平和祈念資料館友の会は、沖縄県平和祈念資料館設立理念をふまえ、学校及び地域における平和学習支援活動をとおり、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えるとともに学習会等（平和講話、戦跡フィールドワーク、講演会、オンライン平和講話、研修会）の活動を行っています。



友の会の皆さん（戦争体験者や2004（平成16）年～2006年（平成18）年度に当館が開催したボランティア養成講座修了生を中心に2007年1月に発足、主に県外の修学旅行生等の平和ガイドを行っています。）

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1
URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
E-MAIL webmaster@peace-museum.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE